

## 長万部の

# 教育 コーナー



## 今、学校では

今キャンパスでは

東京理科大学北海道・長万部キャンパス

### 津波警報発表時の 避難場所運営に ついてのお礼

2025年7月30日のカムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報発表後には、町民、新幹線工事関係者など多数の方が、指定緊急避難場所である大学キャンパスに避難されました。

大学は、速やかにキャンパスおよび施設を開放しましたが、当初は避難してくる車両の多さに誘導が追い付かず、



混乱が予想されましたが、町民の皆様の冷静な行動と新幹線工事関係者の皆様の自発的な車両誘導により、結果、大きな混乱もなく避難が完了し、けが人もなく、当日の21時に避難場所を無事閉鎖することができました。

避難場所の運営にご協力いただきました町民および新幹線工事関係者の皆様に紙面をお借りしてお礼申し上げます。どうもありがとうございます。

(事務課長 丹羽輝久)

## 北海道・長万部キャンパスの近況

この9月には、三原史寛先生が、今も私が行なっているホタテ貝殻研究の実験のために、長万部にやってきました。

研究をするまで、研究が拡大しております。これもひとえに、町の皆様のご協力のおかげです。

三原先生は、長万部に居た基礎工学部の1年生時代から博士課程修了まで、一貫して、ホタテ貝殻の研究を行なってきました。彼は、長万部で学部4年から博士課程までの大半を過ごし、2019年3月に博士を取得しております。

また、現在長万部におります1年生も、昨年度まで同様に、コ・デザインプロジェクトの授業でも、町の皆様には大変お世話になりました。

11月9日(日)に函館市青年センターで行われる「HAKO DATEアカデミックリンク2025」で、このプロジェクトの内容を、1年生自らが、ポスター発表いたします。もしこの日に函館に行く機会がありましたら、会場にお立ち寄りください。

最後になりましたが、今年も10月25日(土)10時30分より14時まで、本学で「学寮祭」を行います。こちらは、ぜひともお越しいただければと思います。

(東京理科大学 竹内 謙)

今では5大学、2国立研究機関、複数の企業、と一緒に研

# 写真で見る学校の様子

## 長万部高等学校

## 長万部中学校

## 長万部小学校



9月11日  
1日防災学校



9月1日  
シェイクアウト訓練



8月29日  
国際交流会 (1・2年)



9月11日  
1日防災学校



9月4日  
高校生のインターシップ(教育実習)事業



9月9日  
駒ヶ岳登山 (5年・宿泊研修)



9月12~13日  
商業教育フェア



9月11日  
学校祭に向けて



9月12日  
スマイルタイム (3年)

### 「選ばれる学校になるために」

長万部高等学校長

土屋 靖雅

高等学校では、「地域とつながり選ばれる学校」の実現に向け、より一層の「魅力化」に取り組んでいます。特に今年は、三つの柱として「持続可能な地域連携」「地元食材を活用した商品開発」「学びの継続と自己実現に向けたキャリア教育の充実」を掲げ、小さい学校だからこそできる、生徒一人ひとりに寄り添った教育を大切に、そして着実に実践しています。二年生全員が実施するインターシップにおいては、地域の皆様のご理解とご協力により、勤労観の醸成に向けた有意義な機会となりました。そして、地域と学びの「つながり」は、九月末に実施した「ここたまひろば」における地元食材を活用した商品開発の販売にも繋がっています。

三年生は進路実現に向け、就職試験や指定校推薦の準備、総合型選抜や共通テスト対策など、全力を尽くしています。その中で、過日行われた、高等学校商業教育フェアに十数年ぶりに参加し、地元食材を活用して開発した商品の販売をしま

した。この商品は、毛がにまつりでも販売したものをレトルト商品に改良したものです。生徒が選んだ地元の特産品も一緒に販売することで、長万部の魅力発信に努めました。二日間の実習は、お客様や他校生徒との交流をとおして、改めて地元への思いを深める機会となりました。また、ニセコ号における弁当販売も昨年同様の実施しました。試作や改良を重ね、長万部の良さをアピールできました。

一年生も探究的活動を進め、地域の方々と語り合いをとおして自身の見聞を広めてきています。今後も探究的な学習を柱とした主体的な学びを推進するとともに、長万部中学校との連携を深め、中高合同講演会や小中高合同発表会の開催、町議会への政策提言など、地域とともに学び考えを発信する学習を継続し、きめ細やかな教育の実践を心掛けて参ります。

「地域の子どもを地域とともに育てる」  
長万部の未来を創る人材の育成を担う学校であり続けたいと考えています。